7　「基礎的なものの具体的な値」の欄には、費用区分ごとに、算定に用いた見込みや過去の実績値のうち、設備投資額の見込み等予測対象年度における接続料に影響を与え得る基礎的なものについて、その具体的な値を記載すること。また、事業年度ごとに算定方法が異なる場合は、当該事業年度ごとに記載すること。記載に当たつては、以下の記載例を踏まえて記載すること。

（記載例）

Ａ：○○億円（△△年）、○○億円（△△年）、○○億円（△△年）

Ｂ：○％（△△年）、○％（△△年）、○％（△△年）

Ｃ：○○億円（△△年）、○○億円（△△年）、○○億円（△△年）

［２の３～４　略］

様式第17の４の４（第23条の９の３関係）

１　データ伝送交換機能の回線容量単位接続料に係る需要

項目	実績値 （事業年度） （単位：Mbps）	参考値 （事業年度） （単位：Mbps）	予測値 （事業年度） （単位：Mbps）
需要			

需要の算定方法等の詳細	
１．データ伝送交換機能に係る交換設備及び接続箇所並びにそれらの周辺の設備の接続構成	
２．１．の接続構成における需要の測定箇所及び測定方法	
３．測定箇所における設備の仕様上の性能限界値又は設定による制限値	
４．需要の算定方法	
５．３．と需要について乖離がある場合、控除を行うべき理由及び乖離に応じた原価の控除の有無	
６．測定箇所における最繁時トラヒックの実績値	
７．ＭＶＮＯが冗長を確保する場合の取扱い	
８．予測値の具体的な計算式等	
９．基礎的なものの具体的な値	

［注１～３　略］

［新設］

［２の３～４　同左］

様式第17の４の４（第23条の９の３関係）

１　［同左］

項目	実績値 （事業年度） （単位：Mbps）	実績値の算定方法	参考値 （事業年度） （単位：Mbps）	予測値 （事業年度） （単位：Mbps）	予測値の算定方法
需要					

［注１～３　同左］